

会員トピックス - ひと

■安全・環境保全・地域共存、貢献

2008/07/23(水)



玉井良介 ダウ・ケミカル日本株式会社衣浦工場 製造本部長兼衣浦工場長

手塩にかけて育ててきた工場に、再び勤務することになったのは10年振り、昨年3月のことだった。懐かしい顔が温かく迎えてくれた中、決意を新たにスタートを切った。

「ダウ・ケミカル社が、日本で初めて半田で工場を立ち上げたのが昭和56年。その時ちょうどアメリカで研修を終え、衣浦工場の次期建設に関わることになりました。昭和59年に溶液状エポキシ樹脂工場を操業開始し、その後63年には主力の液状エポキシ樹脂をダウ・ケミカルにとって新製法で生産し、注目される中での始業でした。製造能力が予定通りに達成できず改善に悩んだこともあり、私にとって思い入れのある工場です。就任に当たって、主力の液状エポキシ樹脂の生産強化で、さらなる市場開拓を目指すことを第一の目標としました」

[ユニークな取り組みを展開](#)

自由な環境の中で思いきり仕事がしたい、そんな思いで外資系の同社を志望した。最初の配属先は製造部(東京)だった。常に

() 関連ページリンク

最新の情報

- ・ [近道はなし。基本を大切に、愚直に進進。](#)
- ・ [社員は家族、楽しい半田の思い出をつくらう!](#)
- ・ [仕事も私生活も地域密着型](#)
- ・ [飛行機をつくる夢を追いかけて](#)
- ・ [『手』が招いた人生に感謝](#)

カレンダー選択

2015 ▼ 年 01 ▼ 月

検索

情報キーワード検索

上司が部下をバックアップし、個人のキャリアを尊重するという恵まれた社風での仕事はやりがいもあり、楽しかった。

「キャリアのステップアップとして、様々な機会を与えられました。工場建設に関わったり、太平洋地域の安全担当、香港赴任での情報システム部勤務や農業事業部、購買部に所属、色々な経験をしてきました。半田の工場に帰って来た時もその経験が役に立ちました」

工場の能力増強は第一の目標ではあるが、また化学会社ならではの試みもあり、多方面に目をこらす。一般的に化学会社＝公害のイメージで捉えられることが多い。ダウという会社を正しく理解していただきたいと、ユニークな取り組みを展開している。本社を置く米国ミッドランド市は半田市の姉妹都市となり、両市間の交換訪問制度の支援や、ダウ文庫(半田市図書館に、化学や米国文化を紹介した書籍2000冊を寄贈)の設置。地域との共存に尽力している。

「安全と環境保全是もちろんですが、地域との共存・貢献も大切なことと捉えています。民間レベルまで広げていきたいので、半田市と協調し、小学校などに太陽光発電と風力発電を組み合わせたハイブリッド発電機や、ピアノの転倒防止用耐震機材、ガラス飛散防止フィルム・テープなどを届けています。また、小さい頃から化学に親しんでいただきたいと、従業員が学校に出向きエネルギー教育のデモンストレーションを行ったりもしました」

そのような多方面に亘る試みで、衣浦工場はダウ・ケミカルの地域貢献プログラムの役割を担っている。その成果が認められ、7月には日本レスポンスブル・ケア協議会から表彰状が贈られた。

「社会的にも評価していただき大変嬉しいことです。会社がイメージアップをしていけば従業員の意識も高まり、仕事への士気も上がるでしょう。しいてはお客さまからも高い評価をいただけるようになります。また、7月には安全衛生優良事業所として、厚生労働大臣『奨励賞』をいただきました。ダブルの喜びです」

操業開始以来、休業災害ゼロの記録を更新中という快挙によって贈られたものであり、工場従業員全員の努力の結晶でもある。

シマアジを求めて

常に責任はついて回る。衣浦工場はダウのグローバルエポキシビジネスの中での一工場であり、そのビジネスにいかに関与していくかで評価を受ける。年齢、性別は問わず、言動が適格かどうかで判断されることが多い。

「世界中の各工場とは電話やパソコンで会議をすることが多いのですが、発言しなければ評価されません。評価されないと、認められません。日本人はこんなことは分かっているからと、黙ってしまう傾向にあります。積極的に話すことです。自分をアピールすることです。仕事にはその人のサイエンス以上のものが必要な時もあり、訓練を重ねることです」

日々、自分との戦いであり、それらは人を、自分を大切にすダウ社の企業カルチャーであり、氏の仕事に対する姿勢でもある。さて、そんな中で精力的に業務を遂行する日々。時間に追われ息つく暇もないほどだが、とっておきの時間がある。それは大海原で釣り人になる時。

「年に何回か沼津から6時間の御蔵島まで出かけます。シマアジを求めてですが、1年ほど前に2・5キロ級のをヒットさせ、興奮しました。その後はマイ包丁で捌き、しっかりいただきました。やはり自分で釣った魚の味は格別です」

根っからのグルメが高じて趣味ともなった釣りであるが、料理も同様である。食べたいものを作る、というシンプルな考え方が、いつの間にか調理を楽しむことになった。

「健康維持のための料理をと、今では和食一辺倒です。スーパーで買物をして、インターネットからレシピを取り出して楽しく料理、単身赴任も気になりません」

また、カラオケを時には海外からの接待客やカラオケ友達と一緒に楽しみ、得意の喉を披露する。十八番は原曲で歌う「君の瞳に恋してる」。まさに歌は国境を超えて分かち合うものであり、友達である。

検索

トピックス選択

- ▶ [はんだの元気印企業](#)
- ▶ [とーくさろん](#)
- ▶ [ひと](#)
- ▶ [会員情報かわら版](#)

衣浦工場の技術が新設予定の中国工場(上海)で導入されることが決定し、同社のアジア太平洋地域における戦略の重要な一角を占める。ますます多忙に拍車がかかる日々が始まるが、夢もまた広がった。

…プロフィール…昭和26年宮崎県延岡市生まれ。52年早稲田大学大学院理工学部応用科学科修士課程修了。同年ダウ・ケミカル日本入社。製造部、香港情報システム部、農業事業部、購買部等を経て、平成19年現職。半田市天神町に在住(家族は東京)。当所常議員

[▶ 前のページへ戻る](#)

[▶ TOPページへ戻る](#)

Copyright(c)1999-2005 Handa Chamber of Commerce and Industry Allright Reserved.